

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 998

事業名	消防団活動補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	総務部	防災課		款	消防費・9款
電話	0799 - 43 - 5006			項	消防費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	非常備消防費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番_【安全】			
	施策目標	住宅や公共施設の災害に対する安全性と、災害に対する市民の意識を高め、自ら身を守る力を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市消防団(消防団員)				構成人数(人) 2,162
	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	平時から消防団組織の円滑な運営を行うことにより、緊急時の迅速な対応を可能とし、消防団員の出勤によって生命、身体、財産が護られる。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 活動補助金を交付することにより、普段から団運営を円滑に行い、組織としての消防団の態勢が整備され、より多くの団員の現場出勤等を可能なものとする。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 消防団は、方面隊及び分団を組織し、水火災その他の災害現場に出勤するとともに、平常、火災予防その他の警戒を行う。(定員2,190人) 本部(団長1名、選任副団長2名)、女性分団(団員20名) 緑方面隊(正副方面隊長各1名、選任分団長2名、以下2地区9分団、団員235名) 西淡方面隊(正副方面隊長各1名、選任分団長6名、以下6地区11分団、団員577名) 三原方面隊(正副方面隊長各1名、選任分団長6名、以下6地区16分団、団員540名) 南淡方面隊(正副方面隊長各1名、選任分団長7名、以下7地区22分団、43部、団員786名)				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (総務部防災課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()	<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
	補助金算出根拠	従来から消防団の運営上必要な経費等を運営費として予算化している。				
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧郡消防協会の経費についても考慮し、予算化した。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	3,000	4,250	3,000	3,000
	消防団活動補助金	3,000	4,250	3,000	3,000
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	3,000	4,250	3,000	3,000
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	3,000	4,250	3,000	3,000
「目的」対象一人当り経費 (千円)	1.4	2.0	1.4	1.4	
受益者人数(2,162)1人当り経費(千円)	1.4	2.0	1.4	1.4	
経費に関する 補足説明	平成18年度は、県操法大会に出場する分団があったため、1,250千円を追加補助した。				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 時間帯及び場所にかかわらず出勤し、消火作業や残火警戒等にあたっており、又、常に訓練や設備資材の維持管理をしており、平素の住民の安全・安心を確保するうえでその効果は大きい。 効率性の根拠が不明確に思われるが、合併前と比較した場合にコストが削減されているか精査する必要がある。	自己 点 評 価 (5)
	4	
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地域防災力は、人と施設の両面がなければならず、人的な面で地域において中心的な役割を担う消防団員の確保は必要不可欠である。また、法で定められた市町村設置団体であるため必要である。	自己 点 評 価 (5)
	5	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 全体的に高い評価であるが、効率性の評価については、合併前のコストと比較検討したり、その根拠について検討していく必要がある。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	地域防災の中心的な役割を担う消防団の活動は必要不可欠であり、評価の2要素のうちすべて4以上となっていることから現状維持とした。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 方面隊の活動状況にあった弾力的な経費支出や緊急時の迅速な支出が出来にくくなり、支出事務も増加する。	